

# 震災後のワンちゃん猫ちゃんたちの症状

東日本大震災で直接被災したペットも、被災地以外の近県で地震を経験したペットも震災ストレスからくる様々な症状が報告されています。

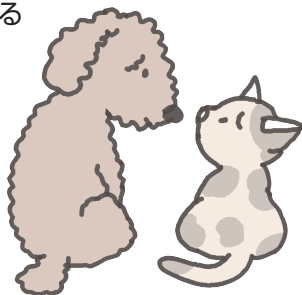
ペットの発するシグナルを見逃さないで早急の手当をしましょう。

## 震災の日からの犬・猫の様子

- 震える
- 食欲不振
- 下痢

## 余震が続き、約ひと月経った後の犬・猫の様子

- フケのなかった犬も、フケが出る
- 一部の被毛がごっそり抜ける
- 鼻血が出る
- 嘔吐する
- 過敏になって吠える
- 隅に隠れて出てこない
- 食欲がない
- クルクル回りながら吠える



### 【鼻血について】※獣医師の話

鼻血は、興奮した時や恐怖を感じた時に局所の血圧が上がり、鼻粘膜血管から出血することがあります。

### 【ストレス緩和のケア】

■ 効果的なマッサージのツボ：

ないかん、しんもん、たんてん  
`内関、`神門、`丹田、

※別紙面の怖くてふるえている子のためのマッサージを参照してください。

## 症状別判断と緊急時の手当

緊急時に獣医師に診てもらうまでの対処法です。

### 【脱水症状】

皮膚をピックアップ（つまんで放す）して、皮膚の戻りをチェックする。また、口の中が乾いていないかもチェック。

《手当》水分を摂らせる。微量の塩分が必要になるので、緊急時はスポーツドリンクで代用もOKです。

### 【熱中症】

ふらつき等。

《手当》水をかけて冷やす。首の後、両脇、両股の部分を冷やす。

### 【怪我をしている犬の保護】

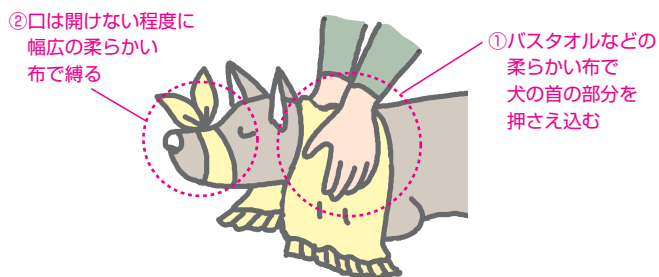
パニックになっている犬は噛み付いたりします。飼い主さんも犬も怪我をしないように保護する事が重要です。

《保護の方法》

バスタオルや大きめの柔らかい布で、首を押さえます。（緊急時は飼い主さんが着ている洋服を利用してください）口が開けない程度に柔らかい布で縛ります。（ネクタイやスカーフなど利用してもOK！）

※細い紐は犬の皮膚に食い込むので使用しないでください。

バグなどの短頭種の場合は、口ではなく首の周りを厚みのある布で巻いて固定します。（バスタオル程度の厚い布）



## もしもの為に…準備しておきたいペットの防災リスト

緊急避難時に困らないために日頃から最小限の準備を行ないましょう。

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> フード 7日分以上（フードボール） | <input type="checkbox"/> 水（水入れ）            |
| <input type="checkbox"/> 常備薬               | <input type="checkbox"/> バスタオル             |
| <input type="checkbox"/> ブランケット（携帯カイロ）     | <input type="checkbox"/> 狂犬病注射済みの札         |
| <input type="checkbox"/> ワクチン証明書           | <input type="checkbox"/> 鑑札                |
| <input type="checkbox"/> 名前札               | <input type="checkbox"/> ペットと一緒に写っている写真    |
| <input type="checkbox"/> リード               | <input type="checkbox"/> 首輪（ハーネス）          |
| <input type="checkbox"/> ペットシート            | <input type="checkbox"/> ふろしき（または大きめのスカーフ） |
| <input type="checkbox"/> ビニールゴミ袋（大・中サイズ）   | <input type="checkbox"/> 洗濯ネット             |

### 【簡単キャリスイングの作り方】

ふろしき（スカーフ）の◎と◎をそれぞれ片結びする。次に、AとBを真結びする。結び目が解けないようにしっかり結んで肩にかけてください。

